



すわべたかし
諏訪部孝敏 議員
(政経会)

薬物乱用防止に向けた取り組みについて

諏訪部 薬物（危険ドラッグ）の乱用防止に向けた取り組みと、子どもたちへの教育について伺う。

教育長 市内すべての中学校及び小学校6年生を対象に、毎年薬物乱用防止教室を開催している。

市長 市内さまざまな青少年育成団体の方々にも薬物乱用防止講座等を開催し、子どもたちの見守り活動を強めていくよう要請していきたいと考えている。



▲黒田小の6年生を対象に行った薬学講座（薬物乱用防止教室）

空き家の現状と利用について

諏訪部 空き家を活用した地域活性化の施策について伺う。

企画部長 空き家の改装等リフォーム助成は、県内でも実施している。今後の地方創生に伴う戦略プランをつくる際、検討する。

時間外勤務の減少と管理体制について

諏訪部 厳しい経済情勢の中で、民間企業は残業時間を大幅に減らす取り組みを大変努力している。市民サービスを低下させることなく、残業時間の削減について伺う。

総務部長 職員の健康管理の観点から、部課長会議で、長時間勤務の改善に向けた取り組みをお願いしている。

小中学生の携帯端末等によるトラブル防止について

諏訪部 小中学校の取り組み状況について伺う。

教育長 青少年を取り巻く環境、主にインターネット、携帯電話の落とし穴について出前講座を実施している。市内の公立小中学校すべてでノーメディアデーを実施し、家庭教育の向上を視野に入れて取り組んでいる。



さいとうかずふみ
齋藤和文 議員
(公明会)

学校給食費未納問題について

齋藤 ①平成25年度以前の未納金額残額累計 ②支払い能力がある滞納者への対応 ③未納問題にかかわる教職員の事務負担、精神的負担への対応について伺う。

教育部長 ①26年度末の時点で、444万円余りとなっている ②悪質な滞納者には、支払督促による給与差し押さえ等の法的措置の実施を念頭に置いている ③給食費の徴収は、学校側において決まりとなっている、現状を十分承知している。教職員に対して、負担軽減へ向けた対応を図っていかねければという認識を教育委員会でも持っている。

空き家等対策の推進に関する特別措置法について

齋藤 ①当市における空き家数と特定空き家数 ②特定空き家のガイドライン ③現地調査・情報収集の方法 ④空き家の有効利用について伺う。

都市整備部長 ①当市の空き家数は推計値5,040戸、特定空き

家数は把握していない ②ガイドラインは、(1)放置すれば倒壊等著しく保安上危険。(2)放置すれば著しく衛生上有害。(3)適切な管理が行われていないため、著しく景観を損なう。(4)その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態を言う。

③現地調査・情報収集は、行政の調査と地域住民、自治会等へ協力をお願いする ④モデルケースとして、稲子地域への定住推進事業を行っている。今後、新築・中古住宅の取得支援事業を検討していきたい。27年度、空き家物件、移住定住に必要な情報等を集めたポータルサイトの開設を目指し、準備を進めている。



▲上稲子の棚田の様子